

## 「おだやかな愛を頂きました。ありがとうね♡」と患者さんから・・・

今年度3回目となるJ A H Aの訪問活動が、3月11日(水)午後2時から病棟のロビー&談話室を会場に繰り広げられました。参加してくれたのは4頭のワンちゃんと



飼い主のみなさんと付添の方、淑徳大学ボランティア”カラーカラーズ“の3名がお手伝い。

ワンちゃんたちの負担を考えて活動時間は1時間と限られているものの、各階20分ずつのふれあいの時間を楽しんでいただきました。ベッドごと出てこられた患者さんは、大きなグ



レートピレニーズのジャックくん(写真左)を見るなり涙ぐむ場面もあり、「ジャック！」と名前を呼ぶと、患者さんのベッドの柵に「は〜い」とばかり手をかけて、みなさんの笑いを誘ったりもしました。付添いのご家族や、病棟のスタッフからも笑顔がどんどん溢れ出して、犬がもつ癒しの

力を実感したひと時でした。患者さんからは「大人しくてとても可

愛かった」「最初は少し怖かったけど、体

温の温かさとか手触りとかにとっても

癒されました」「来てくれてありが

と！元気が出ました」「家で飼って

いた柴犬が亡くなり、久しぶりにワンちゃ

んに会えるので、とても楽しみにしていました。

嬉しか

ったです。ワンちゃんたち長生きしてね」「犬は苦手だけど、遠くで

見ている分には生き物っていいね」といったメッセージが寄せられまし

た。シーザーのケンタクくん(左中)、ミニチュアダックスのこむぎちゃん(右中)、ジャックラッセルテリアの弥七くん(右上)、そして暑さに耐えて頑張ったジャックくん、お疲れさまでした。

